特定非営利活動法人　奈良県防災士会

令和２年度 第７回　　理事会　議事録

１．日　　時　　令和３年４月24日（土）　午前９時から９時35分

２．場　　所　　奈良県社会福祉総合センター ５階会議室Ａ

３．出席者数　　理事総数１８名のうち出席者数１４名・表決委任者数４名

監事総数３名のうち出席者数２名

参与総数２名のうち出席者数１名

事務局員８名出席

４．報告事項

報第１号　関西支部連絡協議会について

報第２号　６月20日の令和３年度定例研修会について

報第３号　書籍の受領について

報第４号　発送作業について

報第５号　県委託事業について

５．協議事項

議第１号　令和３年度の総会役割について

議第２号　実技等の費用弁済と様式の改定について

議第３号　当面の日程について

議第４号　その他について

６．その他

７．議事の経過の概要及び議決の結果

（１）開会

理事長末田政一氏が開会を宣言した。

司会者である八幡領光隆事務統括から本会が定款第 36 条に基づき成立している旨の報告がなされた。

（２）議長選出

定款第 35 条により理事長が議長を務める。

（３）議事録署名人の選出及び書記記録人の指名

議長より議事録署名人選出に関する事項を諮ったところ、「議長一任」の声があったので、議事録署名人に杉村正春理事・村山央監事を選出することに決定した。

なお、本理事会記録者に小山英子事務局員を指名した。

（４）議事審議

議長が議事の審議開始を宣言した。

一.　報告事項

報第１号は、末田理事長から以下の通り報告された。

関西支部連絡協議会は、幹事県が和歌山県から滋賀県に変わりました。日本防災士会の令和３年度本部理事への立候補は関西支部から３名となりました。奈良からは植村信吉副理事長兼相談役が立候補します。

報第２号は、末田理事長から以下の通り報告された。

６月 20 日の令和３年度定例研修会は、奈良公園バスターミナルのレクチャーホールで開催の予定です。本レクチャーホールは座席数約 300 席の大型施設で、新型コロナウイルス感染症対策時でも 130 名程度の収容が可能となっています。

報第３号は、末田理事長から以下の通り報告された。

奈良県防災士会は、日本防火・危機管理促進協会の野上達也氏より書籍「災害心理の基礎知識」を受領しました。有意義に活用して下さい。

報第４号は、末田理事長から以下の通り報告された。

発送作業は、事前に配布した「い」～「り」の９つの発送区分に従って作業を行います。

報第５号は、末田理事長から以下の通り報告された。

令和３年度の県委託事業は、安全・安心まちづくり推進課から従前より受託している「自主防災活動支援事業（5 市町村・5 事業）」に加え、防災統括室からも「避難訓練に特化した支援事業」について打診を受けています。両案件とも協議の段階でまだ契約には至っていません。

以上、報第１号から報第５号議案について討論の結果、全員異議なしとし承認された。

二.　協議事項

議題１号　令和３年度総会について、末田理事長から４月25日（日）～5月11日（火）に東京都、大阪府、京都府、兵庫県に対して「緊急事態宣言」が発出され、奈良県においても新型コロナウイルス感染者が急増し、予断を許さない状況です。総会の開催方法として、賛助会員の傍聴なしで通常通り開催するか、昨年度同様、必要最小限の役員の出席のみで「書面議決・電磁的方法による表決・表決委任」を活用して開催するかをご協議いただきたい等の説明がなされた。協議の結果、新型コロナウイルス感染防止対策を最優先すべきとの判断から、必要最小限の役員の出席のみで「書面議決・電磁的方法による表決・表決委任」を活用して開催する方法が採択された。

議第２号　実技等の費用弁済と様式の改定について、末田理事長から改定資料に基づいて説明があり、可決承認がなされた。

議第３号　当面の日程について、八幡領事務統括から会議資料により説明があり修正、追加等が行われ可決承認がなされた。

議第４号　その他について、末田理事長より令和３年度役員・事務局員名簿の確認がなされ可決承認がなされた。

三.　その他報告、協議事項

次回理事会の日程について協議の結果下記のとおり決定した。

次回理事会は、拡大理事会とする。

日　　時　　令和３年７月18日（日）　午前９時～

会　　場　　奈良公園バスターミナル２階 レクチャーホール

以上をもって、議長から理事会の議事が終了した旨が述べられ、閉会が宣言された。

以上、この議事録が正確であることを証します。

令和　　年　　月　　日

議　　長　　㊞

議事録署名人　　㊞

議事録署名人　　㊞